

この通信では、小野特別支援学校の学校安全の取り組みについて、紹介します。
今回は、3学期に実施した主な取り組みについて紹介していきます。

親子防災訓練の実施 1月17日 実施

① 親子地震防災学習

1月17日 オープンスクールで、「地震について」「地震が起きたら」「防災グッズ等、日頃の備え」「避難所の様子」「学校・家族での約束事」等、基本的に親子で共有したい学習内容と、児童生徒に合った学習内容、学習活動について安全に関する授業を行いました。スライドや実物などを用いて子どもと共に考える工夫を施し授業を実施しました。



② 親子避難訓練

親子地震防災学習の後、親子で避難訓練を行った。保護者と共に、初期対応と避難経路の確認しながら実施しました。バギーの児童生徒は、緊急に頭を守るために、教室にヘルメットを常備し、すぐにかぶり、頭を守りながら避難することができました。児童生徒は教師の指示をよく聞き、速やかに安全に避難することができました。保護者の方は、一緒に真剣に避難したり、子どもの避難の様子を客観的にみたりして、避難時の課題や今後の方向性について一緒に考えることができました。



③ 親子避難所設営訓練

親子で避難所設営訓練、体験を小野市市民安全部防災グループの方々の協力を得て、2グループに分かれて実施しました。

- ・段ボールベッドの組み立て、実際に休息体験。
- ・パーティションづくりからパーティション内で過ごす体験。

折り畳み
片付けして交代

○親子やクラスの仲間と協力して設営し、実際に自分たちで避難所運営をしていかないといけないことや、狭いスペースで長く過ごすために必要な物や、過ごし方を考える良い機会になりました。また、アルファ化米や非常用のパンの配布も行いました。非常時でも、順を待って受け取る等の意識の共有ができました。



第2回 不審者対応訓練の実施 2月9日 実施

9月4日に、本校職員が参加した大阪教育大学附属池田小学校の公開不審者対応訓練を参考に、臨機応変な対応が迫られる設定や教職員の班別による事前と事後の協議、全体への共有を取り入れ、放課後に教職員のみで実施しました。

→児童生徒がいる時とは異なり、現実に近い課題に直面しました。被害が拡がらないようにするには、不審者対応に出来る限り人員を割く必要があることや、侵入されて1秒でも長く不審者の足止めが出来るような備えが必要であること、情報の伝達手段が大きな声の有効と言う意見と内容が聞き取れず不安と言う意見等、たくさんの意見が出ました。それを集約し優先順位をつけてできる所から取り組んでいきました。まずは、緊急時の連絡マニュアルを作成し、電話付近に設置しました。そして、重要な内容・情報は一斉放送で知らせることを確認しました。今後も、訓練を振り返り、安全チームで協議して、備えの厚みを増やしていきたいです。



令和5年度 学校安全推進実践報告会・講演会 2月28日 実施

○学校安全に関する授業を市内の小中学校先生方や近隣の特別支援学校の先生方に参観してもらいました。



学級	内容	☆参観者の感想☆
低学年A	「身の回りの清潔」 ～手洗いについて～ エプロンシアターを通して	授業では、発達段階に応じた様々なリスクの未然防止の理解や思考の場を通して、自分事として身につけられるようにすることを大切にされていることが、どのクラスからも伝わってきました。
低学年B	「身の回りの安全」 クイズ・ロールプレイを通して	
星組	「交通ルールを学び、身の回りの危険・安全に気づこう」クイズ・ロールプレイを通して	
宙組	「性教育について」 プライベートゾーン・自分のからだをまもる	
中1組	「日常生活の安全の理解」 ～日常の写真から危険や安全について考えよう～	
中2組	「災害・危険から身を守る」～自宅周辺の危険と心肺蘇生～	
中3組	「学校内での危険を予測し、安全に過ごす」～車いすの生徒の目線から～	

○小野特別支援学校の学校安全の実践の報告。

今回の実践報告は、SPS認証のモデル校として、学校安全の3領域(生活安全・災害安全・交通安全)でまとめ、重点領域である生活安全を中心に、今年度の本校の取り組みについて発表を行った。

○講演会

「安心安全な学校づくり 一校内ヒヤリハット登録システムを中心に」

講師 大阪教育大学 教授 学長補佐 学校安全推進センター長 藤田 大輔 先生

今年度のまとめとして、学校安全の授業と年間の学校安全の実践について、市内小中学校の先生方や近隣の特別支援学校の先生方に公開・発表を行い共有しました。

その後、学校安全の軸となるヒヤリハットの集約についてや大阪教育大学附属池田小学校の安全管理について藤田先生よりお話いただき、参加者全員が自校に必要な取り組みについて考えることができました。

☆参加者の感想☆

- ・徹底した安全管理・安全指導について大変勉強になりました。校内の危機管理について大人目線からだけでなく、子ども目線も有効であることは、とても印象的でした。
- ・「子ども目線の安全点検をいかに見える化するか」これは自校の課題である。安全点検が形式的になっていることから、系統的な実施と情報の共有の仕方について考える機会となった。

